

事業シート(事業概要書)

1 事業名		消防庁舎維持管理経費		2 事業開始年度	平成2年度				
3 担当部・課・担当名		消防本部・消防総務課・総務担当		4 事業責任者	大久保 信男				
5 根拠法令等		(<input type="checkbox"/> 義務づけ <input type="checkbox"/> その他)							
6 総合計画	章	体系外		7 実施方法	■ 直接実施				
	節	体系外			<input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理				
	項	体系外			(委託又は指定管理先:)				
	小項目	体系外			<input type="checkbox"/> 補助金(補助先:)				
	細項目	体系外			<input type="checkbox"/> その他()				
8 事業概要	① 目的 (何のために)	大規模・複雑多様化する災害に、迅速かつ的確に対応できる消防態勢を構築するため、消防活動拠点としての消防庁舎の建物全体を常に最良の状態に保ち、常に活動に支障のない環境状態を保てるよう維持管理を行う。							
	② 対象 (誰・何を対象に)	地域住民及び消防職員							
	③ 事業内容 (手段・手法など)			詳細					
		①消防庁舎清掃管理委託	清掃業務(床、トイレ清掃等194日、床ワックス掛年2回)、環境衛生業務(受水槽清掃、水質検査、害虫駆除年1回)、空調機点検、清掃年2回						
		②電気設備保守管理委託	主電、配電設備、非常用発電装置点検 月次点検6回、年次点検1回						
③電話設備保守点検委託		27台 主装置・交換機点検他 月次点検6回							
④消防設備点検委託		自動火災報知設備、誘導灯点検他 年次点検2回(6ヶ月間隔)							
④事業の必要性	⑤光熱水費(電気・水道)使用料等の支払 町民が安心してらせる街づくりを行うため、災害への出勤に支障を及ぼさないように、庁舎機能の維持管理は必要不可欠である。								
9 コスト	平成23年度		10 人件費	職員構成		概算人件費		投入人員	
	① 事業費	9,996 千円		担当課職員 (再任用職員含む)	635 千円	0.10	人		
	② 人件費	635 千円		臨時職員等	0 千円	人			
	③ 総額	10,631 千円							
11 事業費 (財源内訳)	年度	事業費計 (千円)	財源内訳(千円)						
	H20年度(決算)	11,472	国・県支出金	町債	その他	一般財源			
	H21年度(決算)	10,325			80	10,245			
	H22年度(決算見込み)	9,783			105	9,678			
	H23年度(予算)	9,996			80	9,916			
12 平成23年度 事業費内訳			予算額	22年度の詳細					
	①消防庁舎清掃管理委託	3,157千円	4~6月随契サンエーサンクス、以降一般競争入札						
	②電気設備保守管理委託	190千円	関東電気保安協会 随意契約						
	③電話設備保守点検委託	53千円	ユーコーテレコム 随意契約						
	④消防設備点検委託	82千円	一般競争入札						
	⑤光熱水費(電気・水道)使用料等	6,514千円							
光熱水費(4,163千円)		消耗品費(50千円)		テレビ受信料(41千円)					
電話料金(1,719千円)		燃料費(295千円)							
下水道使用料(165千円)		火災保険料(81千円)							

事業シート(事業概要書)

		活動指標名	単位	H20年度	H21年度	H22年度(見込み)
13 事業実績		保守点検件数	件	18	18	18
		施設・機器等の修繕	件	8	2	4
14 単位当りコスト		1日あたりの維持管理コスト (事業費計/365日)	千円	31	28	27
15 成果目標 (現状の成果及び今後どのようにしたいか、定量的な評価で示す)	1年365日稼働している消防庁舎は、正常な機能を保ちながら円滑な消防業務を遂行できるようにすることが不可欠であるが、各施設・機器等の老朽化に伴う不具合の発生が今後も見込まれるため、計画的・効率的な維持管理を行うことにより、消防署が正常に機能できる状態を保つことを目標とする。					
		成果指標名	単位	H20年度	H21年度	H22年度(見込み)
16 成果実績		不具合発生件数	件	5	0	3
		消防庁舎が正常に機能した日数	日	363	365	365
17 事業の自己評価	① 課題等	竣工から20年を経過し経年劣化等で修繕等の必要な箇所があるが、財政状況などから、先送りになる。				
	② 今後の方向性	消防庁舎は、新耐震基準で建築されており、地震に対する安全性に問題はないものと判断しているが、消防本部として防災機能の中心的役割が果たせるよう定期的な保守点検や適時の修繕が行えるよう、予算確保に努め、効率的な維持管理を行っていく。				
18 比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<p>近隣市町の消防庁舎清掃業務について</p> <p>茅ヶ崎市 清掃業者に委託している。</p> <p>平塚市 庁舎清掃委託については市役所と一括で委託している。</p> <p>大磯町 清掃業者に委託している、事務スペースについては職員が清掃している。</p> <p>藤沢市 防災センターはPFI方式、消防署は業者に委託している。</p>					
19 特記事項 (事業の沿革等)	<p>修繕については、別事業(消防施設整備事業H23予算額524千円)にて実施している。 (消防庁舎概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所在地 寒川町宮山396番地 ・建築年月 平成2年4月 ・構造 鉄骨鉄筋3階 ・床面積 1766.92㎡ ・建築費 520,125千円(増築 平成10年2月(8.43㎡、4,095千円)含む) 					

消防庁者維持管理経費補足資料

●消防庁舎施設修繕一覧

平成20年度

(円)

非常用自家発電設備緊急応急修繕	264,075
非常用自家発電設備修繕	849,870
加圧給水ポンプ緊急応急修繕	63,525
加圧給水ポンプ交換修繕	1,107,750
庁舎2、3階系統空調機チラーユニット不具合修繕	847,350
消防設備修繕	31,395
通信指令室空調機修繕	86,415
庁舎1、2階系統空調機チラーユニット緊急応急修繕	61,740
計	3,312,120

平成21年度

訓練塔階段踏み板取り換え、塗装修繕(地域活性化・経済危機対策臨時交付金)	6,430,000
1、2階階系統空調機チラーユニット不具合修繕	2,625,000
計	9,055,000

平成22年度

受水槽ボールタップ交換修繕	131,250
車庫照明用配線改修修繕	164,377
テレビアンテナ修繕(地デジ対応含む)	96,100
男子トイレ小便器自動水栓修繕	204,750
計	596,477